

参 考

【視 点】

ここでは、授業を行う上で重要となる生徒の実態把握の方法や内容、進路に関する相談窓口、本ハンドブックを作成するために参考にした文献等を紹介します。

実態把握

(1) 実態把握の方法（生活面、コミュニケーション面）

- 行動観察（学習態度、生活面、コミュニケーション面）
- 聞き取り（本人、保護者、友人、担任、部顧問等）
- 検査等
 - ・ 特別支援教育実践シート（高等学校版）：宮崎県¹
 - ・ 心理検査（WISC-、WISC-、K-ABC、K-ABC 等）
 - ・ 学級集団アセスメント（Q-U 等）
 - ・ 生徒の自尊感情（自己の理解、自己肯定）の状況把握

(2) 実態把握の内容（必要なものを選択）

< 特別支援学校 学習指導要領解説 自立活動編より抜粋 >

生育歴	自己の理解
病気等の有無や状態	コミュニケーションの状態
家庭や地域の環境	○ 人やものとのかかわり
基本的な生活習慣	学習上の配慮事項
心理的な安定の状態	身体機能（視機能、聴機能含む） ほか

(3) 個別の指導計画²、個別の教育支援計画³

生徒の実態把握を通して、教育ニーズを明確にした上で、指導の個別化、共有理解を図るためのツールとして「個別の指導計画」を作成します。また、本人・保護者、学校および関係機関や卒業後の進路先との連携のツールとして「個別の教育支援計画」を作成します。中学校で作成されている場合は、その内容を引き継ぎ、適宜、見直しながら作成します。

1、 2、 3

みやざきの特別支援教育（<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc007/htdocs/>）
宮崎県教育研修センターが運営するサイトから様式等がダウンロードできます。

進路に関する相談窓口

(1) 大学入試、入学後の生活等に関する相談窓口

- 独立行政法人大学入試センター (<http://www.dnc.ac.jp/>)
平成 23 年度から発達障がいのある生徒への特別措置が開始されています。
- 独立行政法人日本学生支援機構：JASSO (<http://www.jasso.go.jp/>)
大学等が行う学生支援のサポート等、様々な学生支援事業を展開しています。
- 各大学等の Web ページ・募集要項

(2) 生活や就労に関する相談窓口(県内)

- 特別支援学校(各地域：13 校)
- 宮崎県発達障害者支援センター(延岡市、宮崎市、都城市)
- 障害者就業・生活支援センター(延岡市、宮崎市、小林市)
- 宮崎障害者職業センター(宮崎市)
- 児童相談所(延岡市、宮崎市、都城市)
- そうだんサポートセンター(各地域：10 か所)

(3) その他

- 公務員試験
自治体によって異なります。各自治体に問合せてください。
- 資格・検定試験
特別措置を行う試験が増えています。主催者に問合せください。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)の施行(平成 28 年 4 月予定)に向けた準備が大学等で始まっています。学生支援センター等、窓口が明確になっている大学も増えているので、確認してください。

参考文献

参 考 文 献	発 行	発行年月
高等学校における特別支援教育の推進について	高等学校ワーキング・グループ	H21. 8
発達障がいのある子どもへの学校教育における支援の在り方に関する実際研究	国立特別支援教育総合研究所	H24. 3
みやざき特別支援教育推進プラン	宮崎県教育委員会	H24.12
高等学校における特別支援教育ガイドブック	宮崎県教育委員会	H23. 3
ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりハンドブック	山形県教育センター	H25. 3
ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり 12 のポイント	埼玉県立総合教育センター	H25. 3
わかる授業への取組と工夫	茨城県立結城第二高等学校	H23. 3

④

学習指導の振り返りシート

I 教室環境		日常	本時
①	教室の前面の掲示物を精選している。		
②	生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。		
③	教室や棚等の整理整頓の仕方を決めて指導している。		
④	背面黒板・ホワイトボード等を有効に活用している。		
※ 上記についてホームルーム担任と連携を図っている。			

II 授業の構成		日常	本時
①	教科書やノート、ファイル、学習用具の準備を指導している。		
②	授業の流れを掲示する等、見通しをもたせる工夫をしている。		
③	個人やペア、グループ、一斉学習等の学習形態を工夫している。		
④	「聴く・見る・話す・書く」等の活動の時間を明確にしている。		

III 話し方・指示		日常	本時
①	生徒に肯定的な表現で話しかけている。		
②	指示や発問、説明等をわかりやすくするように配慮している。		
③	机間指導を通して、生徒の努力を評価している。		

IV 教材・教具		日常	本時
①	生徒の実態に合った教材を準備している。		
②	教材を提示するタイミングを考慮している。		
③	ヒントカード等を用いて個人差に配慮した指導を行っている。		

V 板書		日常	本時
①	板書のルール等を決めて指導している。		
②	授業の流れや内容がわかるように、板書の構成を工夫している。		
③	生徒が書いたノートを確認している。		

VI 定期考査		日常	本時
①	見やすさ等に配慮して、プリントを作成している。		
②	生徒の実態に応じた支援を行っている。		

このシートは授業を振り返るために作成したものです。チェックの欄を学期毎にする等、加筆・修正してご利用ください。

本ハンドブックに関するお問合せ

宮崎県教育研修センター 情報・相談課 特別支援教育担当 0985-24-3148